

6 社会的養護出身の若者サポートプロジェクト

コンソーシアム名:社会的養護出身の若者自立支援プロジェクト

(幹事団体:社会福祉法人長野県社会福祉協議会)

事業概要

〔対象地域〕 長野県内全域

〔事業の概要〕 児童養護施設や里親などの「社会的養護」を一定の年齢で離れた若者等に対し、なんでも相談、居住支援、就労支援等を実施

○若者自立なんでも相談「ホップ」

住まいや仕事、お金などの「なんでも相談」を開設し、他の支援機関と協働して支援

○居住支援「住まいる」

相談者の住まい確保の支援、社協や施設による入居時の保証サービスの拡充を図る。

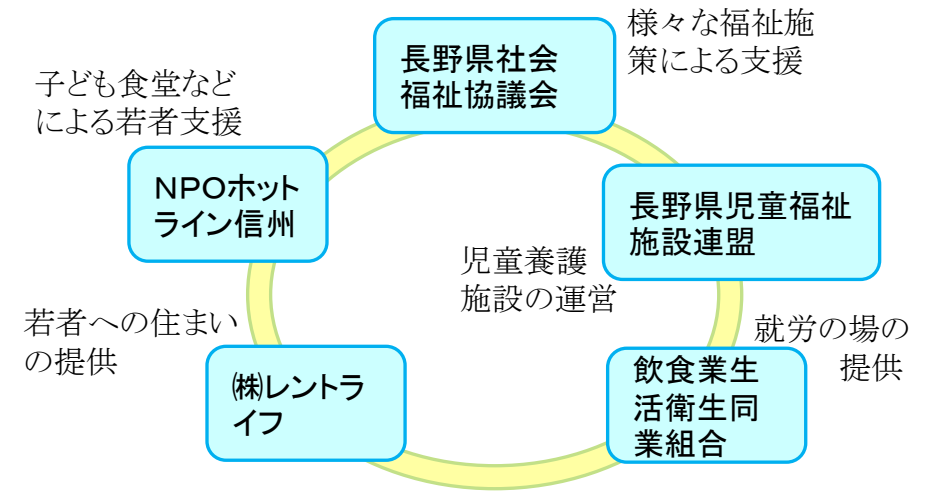
○就労支援「ジャンプ」

居住支援付き雇用や資格取得支援など企業の支援メニュー促進、「若者自立支援プロジェクト基金(仮称)」の設立

○どこでも実家77

児童養護施設と市町村社協等の連携を図り、「実家」のような機能を全市町村で実現

コンソーシアム



現状と課題

社会的養護出身者は「自立を阻む課題」が集中する中で生きることを強いられる。(大人への不信、住まい・仕事・身寄り・お金・孤立などの困難、制度の縦割りの弊害など)

目指す社会変革

- ・入居保証人の慣習を長野から変える。
- ・若者の自立支援を旗印に制度の縦割りを超え、相乗効果を生む。
- ・子ども支援、若者支援に関し地域の見守り力を高める。

<コレクティブインパクト>

困難を有する若者の支援について豊富な実績・体制を有する機関・団体と、住居及び仕事という支援の重要課題に応える団体が協働して、独自の取組を進める。

コンソーシアム体制と役割分担

コンソーシアム

就労、居住、福祉支援等
他分野の連携体制

運営委員会
(意思決定)

県社協

ホットライン
信州

児童福祉
施設連盟

レント
ライフ

飲食組合

(参画予定)

活動内容

若者自立なんでも相談「ホップ」

県社協
ホットライン
信州
児童連盟
レントライフ
飲食組合

- 若者からのお金、仕事、住まい、保証人等の相談をなんでも受止める相談機能
- 児童養護施設の在園生、卒園生支援・里親支援団体との連携
- 支援のため若者サポートステーションなど多機関と連携、調整
- 住まい・就労など、個別ケースへの協力、協力企業の紹介

活動内容

居住支援「住まいる」

県社協
児童連盟
レントライフ
飲食組合

- 保証人問題のニーズ調査、支援の拡充(施設、社協)
- 居住支援法人等との連携強化
- 機関保証やサブリースの拡充等で、多様な入居希望者に対応
- 住み込み雇用、社員寮の活用、共同職員寮の検討等
- 緊急宿泊施設を確保、北信を圏域として寄添い支援を実施

活動内容

就労支援「ジャンプ」

県社協
ホットライン
信州
児童連盟
レントライフ
飲食組合

- 就労支援機関との連携
- プチバイトなど就労体験先の開拓
- 企業向けセミナーの開催
- 「若者自立支援プロジェクト基金(仮)」づくり
- 就労支援イベントの受け入れ
- プチバイト等の会員企業の登録促進
- 住まい付き雇用、資格取得支援など支援メニューの開発、普及
- 子ども支援プロジェクト(アサヒエージェンシー)促進

活動内容

どこでも実家77

県社協
ホットライン
信州
児童連盟
レントライフ
飲食組合

- 市町村社協や社会福祉法人の協力を得て、社会的養護出身者のための実家的な機能(相談機能、サロン機能、物品預かり機能、保証人機能等)を全ての市町村で実現する。
- フードバンク活動、子ども食堂支援と若者自立支援の3点セットで推進していく。
- 各市町村で、まいさぼへの協力企業を増やしていく